

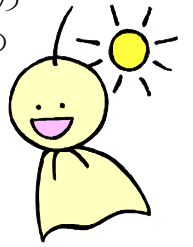


きたおか こうむてん

# 北岡工務店 ニュース

いつも北岡工務店ニュースをご愛読ありがとうございます。この度、快適住まいコンサルタントの山本達雄氏による『子供・地球・環境を守るために出来ること』の講演が、6月18日（日）に、構造見学会を6月24日（土）25日（日）に行ないます。詳細は、別紙にてご説明致しますので、お気軽にご参加下さいますよう、よろしくお願い致します。

さて今月は、『カビ』についてお話しします。かつて、カビの季節といえば、湿気の多い梅雨時のみと考えられていました。が今では、住宅気密性の向上や暖房などの生活設備の普及により、冬の結露期の方がカビの繁殖率が高くなるなど、カビにとっては、一年中、適温・適湿な条件が満たされる環境に変化してきています。



## 「カビ」は怖いんです！

カビは、人体に強い悪影響を与えます。原因不明の病でカビが原因である可能性が指摘されているものもあります。ある種類のカビは「殺人カビ」と呼ばれ、脳内に入り込み、治療が不可能なケースも出ているようです。我が家をより安全にする為に、カビの生える原因を1つでも取り除きましょう！

### カビの発生条件

室内にカビの胞子があると、①栄養分（有機性の物） ②酸素（生物と同じ） ③温度（適温は25～30℃ですが、種類によって0℃以下や40℃以上でも成長可能） ④湿度（70%を超えると成長しやすい環境で、湿度が高くなるほど種類が増え、成長速度も速くなる）4つの条件が揃えばカビが発生します。

### カビ対策のポイント

カビの繁殖を抑えるには、上記の条件を揃わないようにする必要があります。このうち、①栄養分 ②酸素については取り除くことはできません。③温度についても、人の生活できる温度はカビも成長しやすいので、難しいようです。ですから、④湿度をコントロールすることがカビの発生を抑えるのに有効と言えます。

### 湿度をコントロールするには、夏は除湿・冬換気！

空気中にはたくさん水蒸気が含まれています。しかし水蒸気は結露を発生させ、ダニ・カビが繁殖する原因になります。そのため家の中の水蒸気を減らす方法を考えなければなりません。

夏は高温多湿であり、外気には多くの水蒸気が含まれています。そのため、梅雨どきなどに換気をすると、逆に室内に湿気が入ってきます。エアコンのドライ機能や除湿機を利用し、室内空気の除湿に心がけましょう。

冬の外気は、湿気っているようですが、温度が低いので、含まれる水蒸気の量は少なくなっています。寝る前に5分間でも窓を開けて室内の水蒸気を外に出すと、結露防止に非常に効果があります。一時的に室温が下がりますが、壁や床などに蓄えられた熱量が大き



